

5 母子保健児童虐待予防事業

宮城県では産後うつ病や育児不安又は不適切な養育環境に係る対応困難性の高さが報告されている。

そのため、当センターでは育児不安や虐待要因の一つである産後うつ病などの精神疾患の早期発見と支援技術の向上や、児童虐待を予防するための地域支援体制の拡充を目的に、母子保健関係者研修を継続しているところである。

多職種連携が求められていることから、産科医療機関職員も対象に含め、周産期のメンタルヘルス支援に関してそれぞれの立場での支援や連携のあり方を考え、支援技術の向上を図ることを目的として研修を実施した。

また、コロナ禍の長期化や地震等の災害発生が相次いでいる現状を踏まえ、平時からの災害時対策のあり方を学び、災害時に母子が安心して生活できるよう災害時対策の推進を図るために研修を実施した。

○ 保健師等母子保健関係者に対する研修

研修名	実施日・会場	内 容	対象・参加者数
母子保健 福祉研修 I	令和5年 1月30日(月) 子ども総合セ ンター Web(自施設) ※対面・Web 研修	テーマ：周産期のメンタルヘルス支援 講義 「支援が困難なハイリスク妊産婦のメンタル ヘルス支援について」 情報交換 「日ごろの妊産婦支援で困っていること、気 になっていることについて」 講師 東北大学病院 精神科 病院講師 精神科医 菊地 紗耶 氏	県・市町村の母子 保健・児童福祉担 当者、産科医療機 関職員 74人
母子保健 福祉研修 II	令和5年 3月6日(月) 子ども総合セ ンター Web(自施設) ※対面・Web 研修	テーマ：災害時の母子支援対策 講義 「大規模災害発生後の親と子のメンタルヘル ス支援について」 講義 「子どもと親を支援する支援者のメンタルヘ ルスケアについて」 講師 国立国際医療研究センター国府台病院 子どものこころ総合診療センター 子どものこころ医療研修室長 児童精神科医 水本 有紀 氏 話題提供 「東日本大震災における震災後の子どもの心 のケアと子育て支援の実際について」 話題提供者 子ども総合センター 職員	県・市町村の母子 保健・児童福祉担 当者 28人